

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	感覚・知覚心理研究刊行小委員会		主 査 名：西名大作 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：佐土原 聡
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会の前身である感覚・知覚心理小委員会が開催してきた第 1 回～第 11 回のシンポジウム資料の内容をまとめ、成書として刊行することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度：執筆方針を策定，執筆依頼をかけ，第一次原稿を収集，査読する。 ・2 年度：査読後に第二次原稿を依頼，さらに運営委員会での査読を経て脱稿。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：西名大作 (広島大学) 幹事：原 直也 (関西大学)，原田昌幸 (名古屋市立大学) 委員：秋田剛 (東京電機大学)，梅宮典子 (大阪市立大学)，太田篤史 (横浜国立大学)，合掌頭 (岐阜大学)，澤島智明 (佐賀大学)，竹原広実 (京都ノートルダム女子大学)，竹村明久 (大同大学)，土田義郎 (金沢工業大学)，松原齋樹 (京都府立大学)，光田恵 (大同大学)，宮本征一 (摂南大学)，山中俊夫 (大阪大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	書籍の内容や方針，執筆要領に関して 3 回の議論を重ね，各執筆者に対して 11 月下旬に第一次原稿の執筆依頼をかけることができた。2 月中旬を締切としているため，現時点では原稿の提出状況については未知数であるが，当初の計画通り，来年度の早い段階で第二次原稿の執筆依頼をかけることを可能とする，まずまず順調な進捗状況であると言える。
委員会活動の問題点 ・課題	執筆要領の詳細について，委員間で認識に違いがあるなどの問題が生じた。メールでの連絡では限界があるため，なるべく小委員会の開催頻度を上げて，十分な意思疎通が図られるよう努力したい。

2013 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>前身の感覚・知覚心理小委員会でも、刊行に関して議論を深めてきたこともあり、本小委員会設置後、順調に書籍の内容や執筆方針、執筆要領などについて順調に決定することができた。</p> <p>当初は執筆依頼を10月初旬から中旬頃にかけてを予定していたが、見本となる原稿や、各章の扉の完成が遅れたため、11月中旬にずれこんだ。しかしながら、締切を2月中旬としたため、その後の査読や確認作業に年度内に着手可能であり、概ね計画通りに進捗していることから、評価はAとした。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。